

令和3年度 下水道事業会計決算の概要について

1. 業務量：年間処理水量は 17,268 m³、年間有収水量は 2,674 m³ それぞれ増加しました。

事項	令和3年度	令和2年度	前年度対比	
			増減	比率 (%)
処理区域内人口 (人)	5,500	5,500	0	100.0
年間処理水量 (m ³)	594,669	577,401	17,268	103.0
年間有収水量 (m ³)	533,805	531,131	2,674	100.5

2. 収益的収支（損益計算書）：収益的収支とは、当該事業年度の企業の経営活動に伴い発生する収益と費用の状況を表したものです。
 収益総額 661,229,801 円に対し、費用総額 494,296,407 円であったため、当年度純利益は 166,933,394 円でした。

損益計算書【税抜】

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

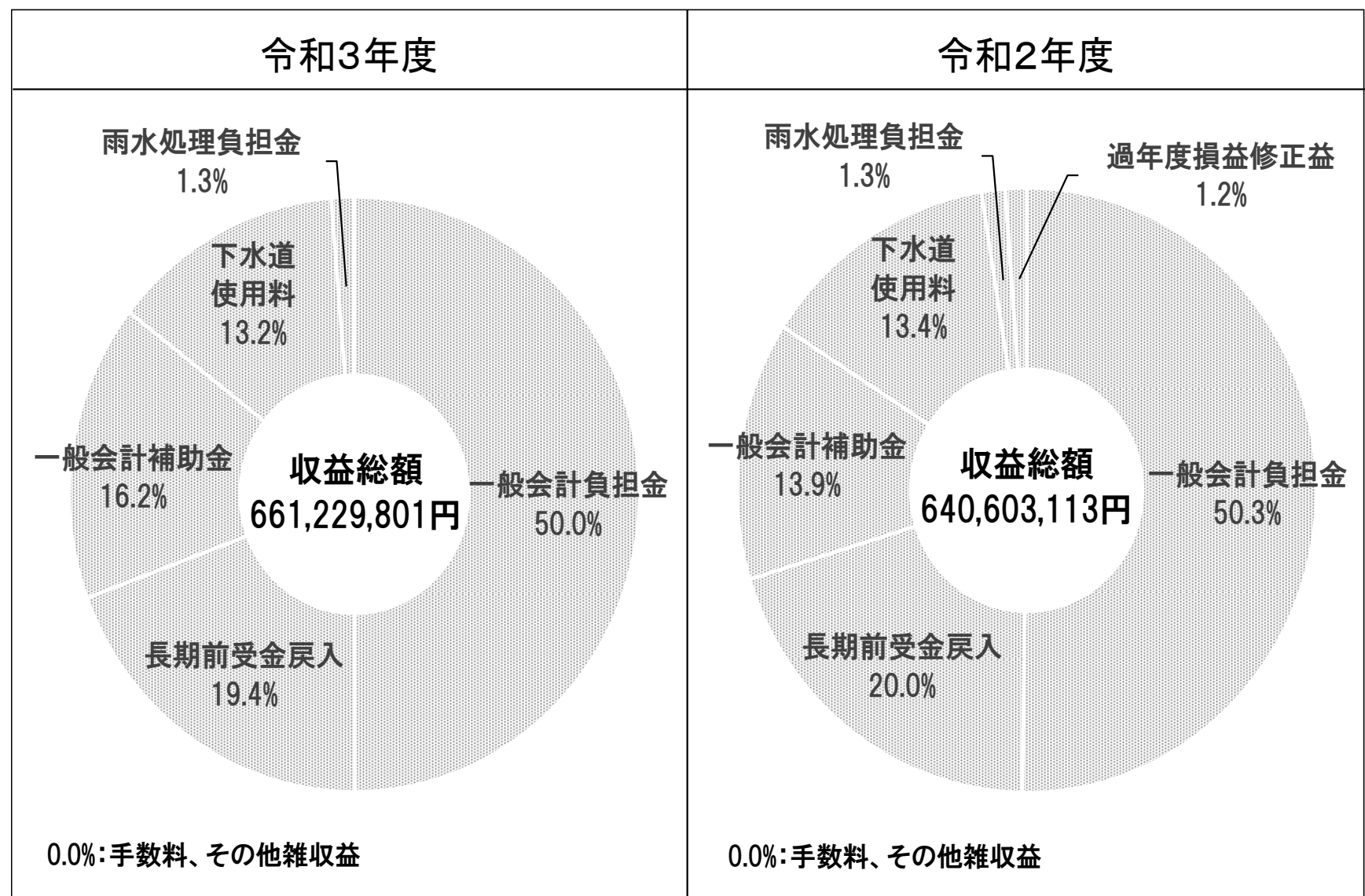
（単位：円）

<p>1 営業収益</p> <p>(1) 下水道使用料 87,344,831</p> <p>(2) 一般会計負担金 8,391,000</p> <p>(3) その他営業収益 75,000</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">95,810,831</p> <p>2 営業費用</p> <p>(1) 処理場・ポンプ施設費 133,470,873</p> <p>(2) 普及促進費 435,000</p> <p>(3) 業務費 6,264,654</p> <p>(4) 総係費 40,516,376</p> <p>(5) 減価償却費 236,955,771</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">417,642,674</p> <p style="text-align: right;">営業損失 ▲ 321,831,843</p>	<p>3 営業外収益</p> <p>(1) 一般会計負担金 330,340,000</p> <p>(2) 一般会計補助金 106,930,000</p> <p>(3) 長期前受金戻入 128,132,162</p> <p>(4) 雑収益 16,808</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">565,418,970</p> <p>4 営業外費用</p> <p>(1) 支払利息及び企業債取扱諸費 69,686,101</p> <p>(2) 雑支出 0</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">69,686,101</p> <p style="text-align: right;">経常利益 173,901,026</p> <p>5 特別利益</p> <p>(1) 過年度損益修正益 0</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">0</p> <p>6 特別損失</p> <p>(1) 過年度損益修正損 0</p> <p>(2) その他特別損失 6,967,632</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">6,967,632</p> <p>当年度純利益 166,933,394</p> <p>前年度繰越利益剰余金 46,245,949</p> <p>その他未処分利益剰余金変動額 0</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">213,179,343</p>
--	---

○収益【税抜】の内訳等

区 分	決算額(円)		前年度対比		令和3年度の内容
	令和3年度	令和2年度	増減(円)	比率(%)	
一般会計負担金	330,340,000	321,969,000	8,371,000	102.6	汚水処理経費に対する公営企業繰出基準(総務省)による一般会計繰入金と繰出基準外の一般会計繰入金、他
長期前受金戻入	128,132,162	127,969,000	163,162	100.1	国庫補助金など償却資産取得時に繰延経理をした財源を収益化したもの
一般会計補助金	106,930,000	88,806,000	18,124,000	120.4	汚水処理経費に対する繰出基準外の一般会計繰入金
下水道使用料	87,344,831	85,794,707	1,550,124	101.8	公共下水道使用料
雨水処理負担金	8,391,000	8,391,000	0	100.0	公営企業繰出基準(総務省)による雨水処理経費に対する一般会計繰入金
手数料	75,000	100,000	▲ 25,000	75.0	下水道排水設備工事指定工事店の更新手数料
その他雑収益	16,808	16,992	▲ 184	98.9	地方公務員災害補償基金負担金、原子力損害賠償金、他
過年度損益修正益	0	7,556,414	▲ 7,556,414	皆減	〈令和2年度の内容〉 過年度消費税及び地方消費税更正還付金
合計	661,229,801	640,603,113	20,626,688	103.2	

○収益の構成



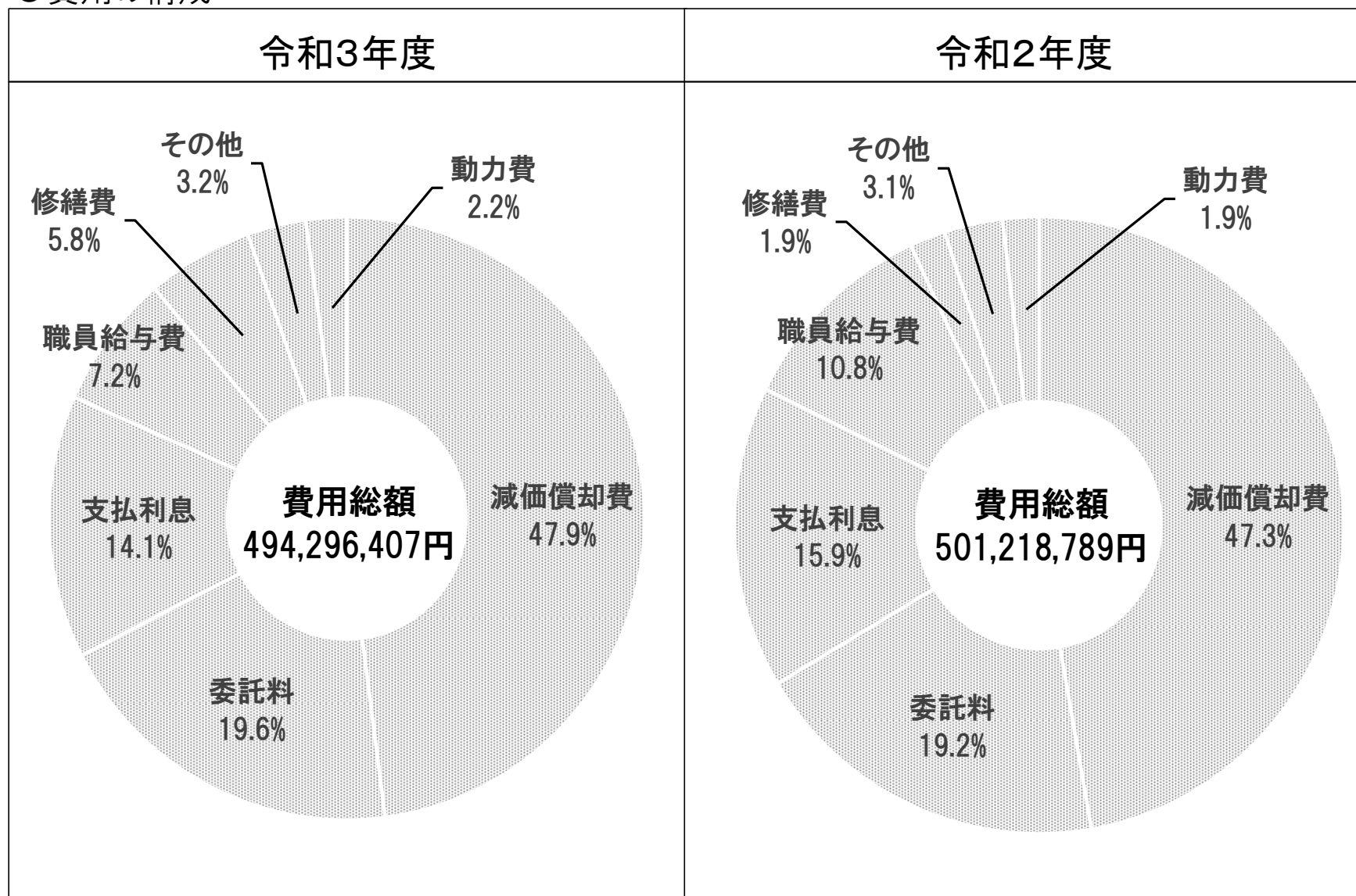
※端数処理により、構成比率の合計は100%にならない場合があります。

○費用【税抜】の内訳

区 分	決算額(円)		前年度対比		令和3年度の内容
	令和3年度	令和2年度	増減(円)	比率(%)	
減価償却費	236,955,771	236,865,000	90,771	100.0	処理場、管きよなど下水道施設の減価償却費
委託料	96,717,668	96,037,298	680,370	100.7	鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託料、廃棄物運搬処分委託料、下水道使用料賦課徴収業務委託料、電気設備保守点検委託料、他
支払利息	69,686,101	79,508,210	▲ 9,822,109	87.6	企業債利子
職員給与費	35,717,195	54,156,921	▲ 18,439,726	66.0	職員人件費
修繕費	28,565,100	9,517,800	19,047,300	300.1	鏡ヶ浦クリーンセンター及び場外マンホールポンプ場の修繕費
その他	15,787,010	15,516,939	270,071	101.7	特別損失(注)、負担金、通信運搬費、材料費、賃借料、他
動力費	10,867,562	9,616,621	1,250,941	113.0	鏡ヶ浦クリーンセンター及び場外マンホールポンプ場の電気使用料
合計	494,296,407	501,218,789	▲ 6,922,382	98.6	

(注)特別損失は企業債繰上償還補償金。

○費用の構成



※端数処理により、構成比率の合計は100%にならない場合があります。

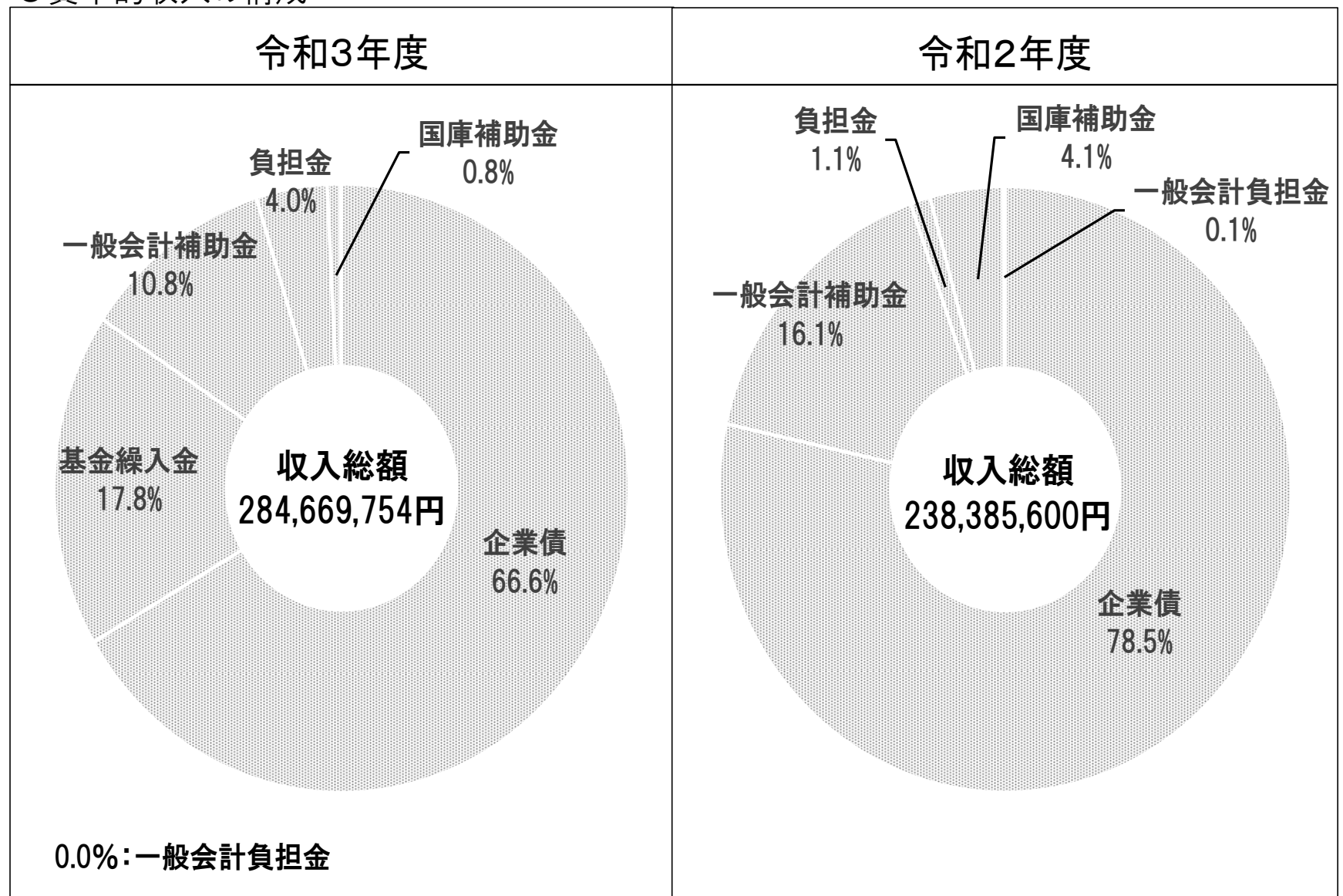
3. 資本的収支：資本的収支とは、主として将来の営業活動に備えて行う下水道施設の建設改良費や企業債の元金償還金等の支出とその財源となる企業債や国庫補助金等の収入を表したものです。

収入総額 284,669,754 円に対し、支出総額 535,736,085 円であったため、不足額 251,066,331 円が生じ、当年度利益剰余金処分等で補てんしました。

○資本的収入【税込】の内訳等

区分	決算額(円)		前年度対比		令和3年度の内容
	令和3年度	令和2年度	増減(円)	比率(%)	
企業債	189,500,000	187,100,000	2,400,000	101.3	建設改良事業の財源として借り入れた長期企業債
基金繰入金	50,681,954	0	50,681,954	皆増	都市計画事業基金繰入金
一般会計補助金	30,840,000	38,492,000	▲ 7,652,000	80.1	公営企業繰出基準(総務省)による企業債償還金に対する一般会計繰入金
負担金	11,382,800	2,673,600	8,709,200	425.7	第R3-1工区(館山警察署管渠布設工事)に対する工事負担金、受益者負担金
国庫補助金	2,145,000	9,870,000	▲ 7,725,000	21.7	汚水適正処理構想見直しに係る基礎検討業務委託料に対する国庫補助金(社会資本整備総合交付金)
一般会計負担金	120,000	250,000	▲ 130,000	48.0	公営企業繰出基準(総務省)による職員の児童手当に対する一般会計繰入金
合計	284,669,754	238,385,600	46,284,154	119.4	

○資本的収入の構成

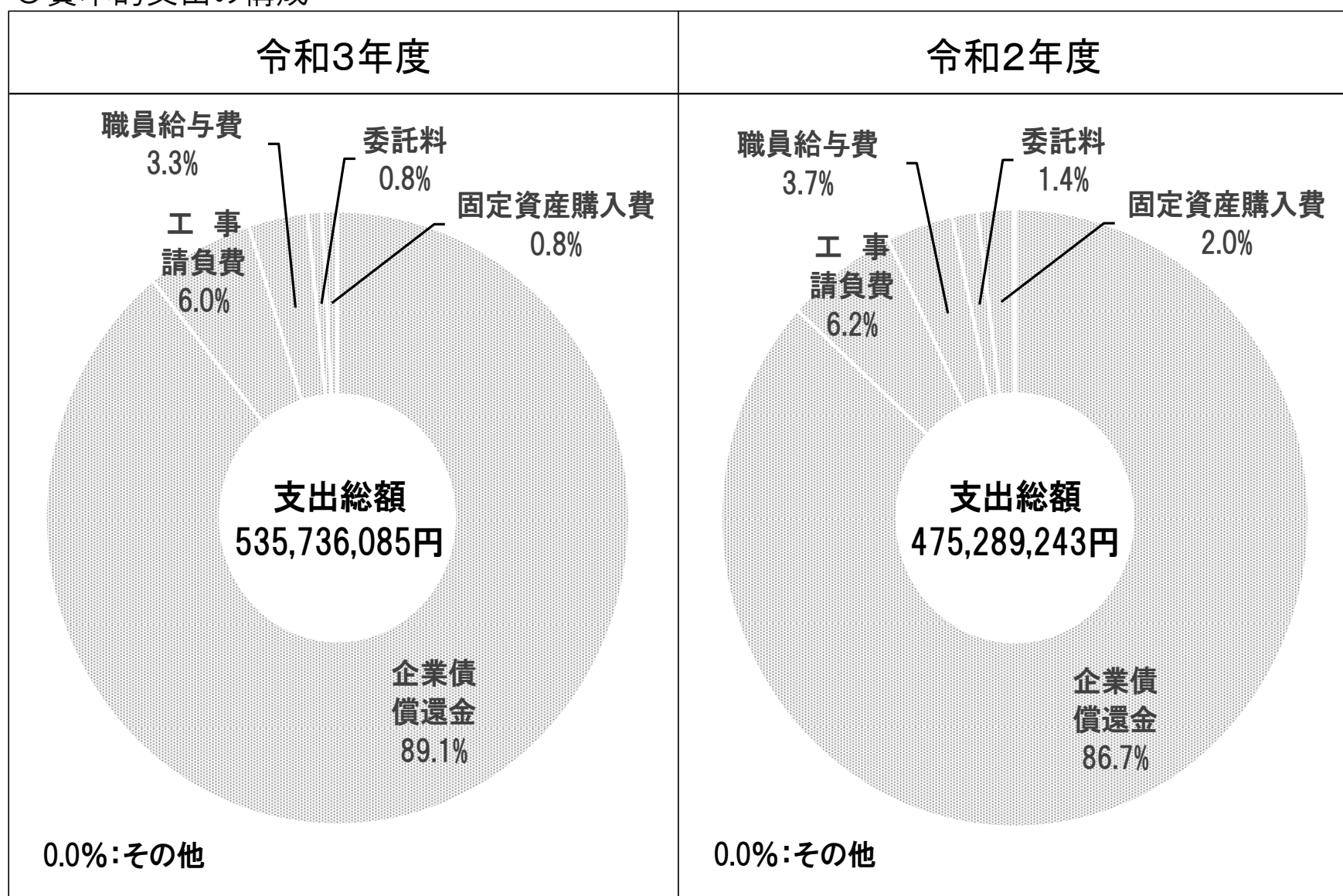


※端数処理により、構成比率の合計は100%にならない場合があります。

○資本的支出【税込】の内訳

区分	決算額(円)		前年度対比		令和3年度の内容
	令和3年度	令和2年度	増減(円)	比率(%)	
企業債 償還金	477,273,777	412,229,791	65,043,986	115.8	建設改良事業に対する下水道事業債、企業会計導入 に対する公営企業会計適用債
工事 請負費	32,071,132	29,315,684	2,755,448	109.4	公共下水道枝線管渠布設工事(第R3-1工区)・(第 R3-2工区)、枝線管渠工事(柵・取付管設置)、枝線舗 装復旧工事、他
職員 給与費	17,618,054	17,399,468	218,586	101.3	職員人件費
委託料	4,290,000	6,650,000	▲ 2,360,000	64.5	汚水適正処理構想見直しに係る基礎検討業務委託
固定資産 購入費	4,287,360	9,507,300	▲ 5,219,940	45.1	鏡ヶ浦クリーンセンター及び場外マンホールポンプの機 器更新、備品購入費
その他	195,762	187,000	8,762	104.7	工事整備用材料費、消耗品費、他
合計	535,736,085	475,289,243	60,446,842	112.7	

○資本的支出の構成



※端数処理により、構成比率の合計は100%にならない場合があります。

4. 貸借対照表：貸借対照表とは、企業の財政状況を明らかにするため、年度末における資産、負債及び資本の状態を表したものです。
 令和4年3月31日における資産合計は13,628,420,773円、負債合計は8,681,687,764円、資本合計は4,946,733,009円でした。

貸借対照表【税抜】			
(令和4年3月31日)			
(単位：円)			
借方	金額	貸方	金額
資産	13,628,420,773	負債	8,681,687,764
固定資産	13,523,827,683	固定負債	3,629,242,592
有形固定資産	13,523,827,683	企業債	3,629,242,592
流動資産	104,593,090	流動負債	510,570,955
現金・預金	75,781,744	企業債	446,034,565
未収金	29,178,171	未払金	59,939,800
貸倒引当金	▲ 326,000	引当金	4,291,000
前払費用	▲ 41,421	その他流動負債	305,590
前払金	596	繰延収益	4,541,874,217
		長期前受金	4,797,975,379
		収益化累計額	▲ 256,101,162
		資本	4,946,733,009
		資本金	▲ 444,034,659
		自己資本金	▲ 444,034,659
		剰余金	5,390,767,668
		資本剰余金	5,177,588,325
		利益剰余金	213,179,343
資産 合計	13,628,420,773	負債・資本 合計	13,628,420,773

5. 資金不足額の算定

- ・令和3年度決算において、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「健全化法」）による資金不足額はありません。

《健全化法による資金不足額の算定》

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| ①流動資産の額（翌年度に繰り越される支出の財源充当額を除く） | 104,539,090円 |
| ②流動負債の額（1年以内に償還する企業債を除く） | 64,536,390円 |
| ③（①-②） | 40,002,700円 |

※上記③≥0のため、資金不足額はありません。